

環境活動レポート

＜エコアクション21＞

《第37期》

2006年11月08日
中島精工株式会社

1 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

《基本方針》

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条令及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、また、分別を徹底することによる再資源化を推進します。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

2004年6月1日

代表取締役 中島 洋衛 

2. 会社概要

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 中島精工株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役 中島 洋衛 |
| 設 立 | 昭和44年10月 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 売上高 | 44,100万円(第36期実績) |
| 所在地 | 〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2015 |
| 従業員数 | 23名 |
| 事業内容 | TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。 また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。 |
| 営業品目 | LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム |
| 環境管理責任者 | 管理部 課長補佐 中島 高広 |

事業規模

| | 第35期 | 第36期 | 第37期 |
|-------|----------|----------|----------|
| 売上額 | 43,400万円 | 44,100万円 | 54,300万円 |
| 従業員数 | 20人 | 23人 | 23人 |
| 延べ床面積 | 1,038㎡ | 1,038㎡ | 1,038㎡ |

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期及び第37期目標(対36期比)

| 管理項目 | 第36期実績 | 第37期目標 | 第38期目標 | 第39期目標 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1,000shotあたりの電気使用量(kw/kshot) ^(注) | 0.502 | 0.477 | 0.467 | 0.462 |
| 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /kshot) | 0.190 | 0.180 | 0.177 | 0.175 |
| 削減率(%) | — | 5.0 | 7.0 | 8.0 |
| 灯油使用量(ℓ) | 4,252 | 4,124 | 4,082 | 4,039 |
| 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 10,595.69 | 10,276.72 | 10,172.06 | 10,064.91 |
| 削減率(%) | — | 3.0 | 4.0 | 5.0 |
| 廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg) | 2,900 | 2,813 | 2,784 | 2,755 |
| 削減率(%) | — | 3.0 | 4.0 | 5.0 |
| 水道使用量(m ³) | 155 | 150.4 | 148.8 | 148.0 |
| 削減率(%) | — | 3.0 | 4.0 | 4.5 |

(注) kw/kshot: プレス機の打ち抜き数 1,000shot(1,000回)あたりの電気使用量

(2) 第37期環境目標とその実績

| 管理項目 | 第36期実績 | 第37期目標 | 第37期実績 |
|---|-----------|-----------|----------|
| 1,000shotあたりの電気使用量(kw/kshot) ^(注) | 0.502 | 0.477 | 0.450 |
| 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /kshot) | 0.190 | 0.180 | 0.170 |
| 削減率(%) (対36期比) | — | 5.0 | 10.4 |
| 灯油使用量(ℓ) | 4,252 | 4,124 | 3,282 |
| 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 10,595.69 | 10,276.72 | 8,178.51 |
| 削減率(%) (対36期比) | — | 3.0 | 22.8 |
| 廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg) | 2,900 | 2,813 | 2,875 |
| 削減率(%) (対36期比) | — | 3.0 | 0.90 |
| 水道使用量(m ³) | 155 | 150.4 | 140.0 |
| 削減率(%) (対36期比) | — | 3.0 | 9.7 |

(注) kw/kshot: プレス機の打ち抜き数1,000shot(1,000回)あたりの電気使用量

4. 環境活動計画の内容

(1) 電力消費量の削減

1. 蛍光灯使用本数削減、不在場所消灯。
2. 不在時PCモニター電源OFF
3. エアコン温度管理(温度は季節・部署等できめ細かく設定管理)。
4. 電気ストーブの使用頻度削減
5. 週末電気温水器電源OFF
6. 停止中プレス機電源OFF、エアーバルブClose
7. 工作機械不使用時、ブレーカーOFF

(2) 灯油使用量の削減

8. 石油ストーブの温度管理(20~22℃を基準に冷え込み状況に応じて管理)

(3) 廃棄物排出量の削減

9. 電子文書化、印刷物削減
10. ゴミの分別
11. 鉄・危険物・その他の3種類に分別

(4) 水道使用量の削減

12. 手洗い中の止水
13. トイレへ消音装置設置
14. 蛇口へ節水シール貼付

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 電力消費量(1,000shotあたりの電力消費量)

当社では生産設備に使用される電力の占める割合が多いため、生産量の違いにより電力消費量が大きく異なる傾向がある。

そのため、プレス機の打ち抜き数1,000shot(1,000回)あたりの電力消費量を管理するようにし、生産量の違いによる影響を最小限にしている。

その結果、37期は電気使用量(kw)だけを見ると4.7%増加しているが、電力消費量(kw/kshot)は10.4%も削減されており、空調設備の温度管理や設備不使用時の電源OFF、蛍光灯の使用本数削減などの効果が出たものと考えられる。

しかし、まだ細かい部分で改善の余地があるため、引き続き社員に節電を呼びかけると共に改善を推進していく。

(2) 灯油使用量

エコアクション活動で一番大きな効果が出たのが、灯油使用量である。

これまでは、特に意識すること無く暖房器具を使用していたが、エコアクション活動で社員が意識するようになり、使用量の削減につながった。

(3) 廃棄物(可燃ごみ)排出量

今まではゴミの分別や計量はほとんどされていなかったが、エコアクション活動でゴミの分別が促進され、再資源化されるゴミも多くあることに気付かされた。

37期は、滞留品の処分などがあったため、目標値をクリアすることは出来なかったが、36期比で0.9%削減できた。

(4)水道使用量

当社では、生産活動で水を使用していないため、大きな効果は得られないと思われたが、蛇口へ節水ラベルを貼り付けた効果もあり、9.7%の削減に成功した。今後は、手洗い中も止水する様に呼びかけ、更なる削減に取り組む。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もありませんでした。

以上